

事業所名		ことばの木		支援プログラム		作成日		2025 年		2 月		10 日	
法人(事業所)理念		・個別または小集団での言語訓練や活動を通して児童の自信を深め、保護者の不安を和らげる。 う！と自ら動きたくなる環境・きっかけをつくり、その中で生まれる友だちとの課題への取り組みや成功体験の中で成長し自己肯定感を高める。 ・楽しそ											
支援方針		・信頼できる職員との言語訓練 える活動の提供 ・自分で考え行動する力を付ける ・感覚運動や指先の訓練 体の動きをコントロールしたり運動でストレスなどの気持ちの発散を行うと、気持ちや、私生活、学習面でのコントロールにも繋がります。 達成に向けて「健康・生活」「運動・感覚」「認知・行動」「言語・コミュニケーション」「人間性・社会性」の5つの領域から総合的にアプローチし支援します。 個別の目標											
営業時間		9 時		0 分から		18 時		0 分まで		送迎実施の有無		有。距離等によって要相談	
		支 援 内 容											
健康・生活		・年齢が上がるにつれ、心に起きる葛藤が難しくなります。頭ではどうすべきか分かっている、個々の特性から複雑な気持ちに混乱して行動に移せないという感情を客観視して、イラストに起こして視覚的に状況を説明するなど、一緒に解決方法を見つけ、練習をします。 ・こどもたちが自立して日常生活や社会生活を営んでいけるよう、また、施設外での社会活動へつなげるため、遊びの中や日常の学習機会を利用した支援、環境配慮を工夫します。											
運動・感覚		・こどもたちが楽しみながらスモールステップで運動機能、バランス感覚、力の強弱、距離感、様々な体の感覚・感触に触れ、達成感や意欲を育みながら感覚の成長を支援します。 ・運動あそびを通して基礎的な筋力を身に付けることにより、書字能力の向上、姿勢の改善、衝動のコントロールなどを身に付ける基礎を作ります。											

本人支援	認知・行動	・特性に合わせ、どのような方法・環境の設定であれば円滑に生活できるか(主に“相手をよく見る”、“苦手なことへも少しチャレンジしてみる”等課題に向く姿勢)、を模索し、支援します。 ・また、やってみたら「楽しい」「やってよかった」と感じるように関わり方や内容を工夫します。 ・理できない難しさから生ずる行動の予防方法を考えます。また、暇な時間が辛く感じるお子さんもいます。待つ時間や余暇の過ごし方を一緒に考えます。	
	言語コミュニケーション	・言語聴覚士を中心に語彙力の向上や自発的な発声を促す個別活動の提供。 ・暴力や、暴言など、社会的には不適切とされる行動も、その子にとっての何らかの問題に対処してコミュニケーションをとろうとする行動と捉えています。どんな問題に対処しようとしているのか観察しつつ、気持ちを代弁したりして言葉に出来るように支援します。 ・言葉聞き取り理解する力や言葉だけでなく文字やしぐさ、表情等で自分の思いや要求を相手に伝える力を伸ばせるように支援します。 ・小集団活動などで大人や友達と関わる機会をもち、相手を意識した関わりをする中でコミュニケーション能力をのばせるように支援していきます。 ・場に応じたことばや態度で相手に接することができるようにまずは大人がモデル(模倣)を見せていき、学べるようにしていきます。	
	人間関係社会性	・ソーシャルスキルの習得を目指します。小さな1歩から「やって良かった」「楽しい」と感じるなど、成功体験となるキッカケを作れるようになる設定を考えています。集団での活動や、友達との関わりを通して実践的に学び身につけます。”挨拶”“ルール”“マナー”“礼儀”“感謝”“謝罪”など社会生活で活躍するスキルを身に付けます。 ・“友人”“上下”“利害”“同盟”“協力”“対立”など、集団で発生する様々な人間関係において、相手も自分も大切にしたい行動を選択できるように、一緒に考えます。	
家族支援		・ご家族の子育てに関する困りごとに対する相談支援 ・こどもの発達上のニーズについての気づきの促しとその後の支援 ・こどもの支え方や食事のとり方等の具体的な介助方法についての助言・提案 ・家族のレスパイトの時間の確保や就労等による預かりニーズに対応するための支援 ・こどもの発達状況や特性の理解に向けた相談援助、実施 ・家族に対する支援場面を通じた学びの機会の提供 ・兄弟関係、家族関係に関する支援	移行支援 ＜中・高・放課後児童クラブ・就労先等への移行支援＞ ・具体的な移行やこどもの発達の評価・支援 ・移行先との支援方針・支援内容の共有や、こどもの状態・保護者の意向・支援方法についての共有 ・家族への情報提供 ・移行先への相談援助 ・進路や移行先の選択についての本人や家族への相談援助
地域支援・地域連携		・放課後等デイサービス計画作成又は見直しに関する会議の開催 ・個別のケース検討のための会議への参加 ・関連する保健・医療・福祉・教育・労働等の関係機関や障害福祉サービス等事業所等と連携 ・学校・放課後児童クラブ等との連携や調整、支援方法や環境調整等に関する相談支援、会議 ・地域の関係者等との連携 ・担当保健師や、医療機関等との情報共有 ・支援センターや医療的ケア児支援センター、地域生活支援拠点等との連携 ・相談支援事業所や障がい福祉サービス事業所、他の障がい児通所支援事業所との情報共有や会議 ・虐待が疑われた場合、児童相談所やこども家庭センターとの情報連携	職員の質の向上 ・県や市町村、児童発達支援センター、障がい児支援関係団体が実施する研修等への参加 ・事業所における定期的な研修会や勉強会の開催 ・オンラインにていつでも研修が受けられる機会の提供 ・日々のミーティングやこどもたち1人ひとりの情報共有 ・職員が希望する研修への参加

主な行事等	年間を通して、季節に応じた行事(工作)を行っています。 こどもの日、母の日、ファミリーデー(父の日)、七夕、夏祭り、敬老の日、ハロウィン、クリスマス会、正月、節分、ひなまつり 等 年間を通じて: 誕生日会
-------	---